

資料編

国内専門家フェローシップ制度

2019年度研修者〈二次募集〉

募集案内

【募集期間】2019年4月26日（金）～2019年6月12日（水） **※必着**

2019年4月

文化庁

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

I 本事業に関するお問い合わせ

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕 実演芸術振興部
〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2階
Tel：03-5909-3060（平日10時～18時） Fax：03-5909-3061
Eメール：renkei@geidankyo.or.jp

※ 申請様式は「実演芸術連携交流事業」ウェブサイトからダウンロードできます。
www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/

II 募集について

1. 目的

多様、多彩な実演芸術を創造し、より多くの人々が享受できる環境を整備するとともに、国際的な発信、交流を推進するためには、芸術団体、劇場、音楽堂等、ならびにその担い手が連携し、プロデューサー、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、実演家等、実演芸術に携わる専門人材を育成することが必要不可欠です。

国内専門家フェローシップ制度は、実演芸術に携わる実務者を対象に、新たな学びの場となる多様な実務研修と、地域や職域・ジャンルを超えた幅広い人的交流の機会を設けることで、実演芸術の創造、継承、発展に資する能力の向上と、国内専門家同士のネットワーク構築を目的とした国内研修制度です。のちに後進の指導も担いうる中核的存在となる専門人材を全国に創出することを目指し、こうした研鑽の機会を提供します。

2. 対象となる者

音楽、演劇、舞踊、演芸、伝統芸能等の実演芸術分野において、プロデューサー、アートマネジメント人材、舞台技術者等として活動する者で、次の条件を満たす者とします。

- (1) 日本国籍又は日本の永住資格を有すること
- (2) 2019年4月1日時点で満20歳以上であること
- (3) 専門とする分野・ジャンル等において芸術活動の実績があること
- (4) 研修修了後も実演芸術活動に継続して従事し、後進の育成にも貢献し得る者

3. 研修先

下記のような研修先を想定しています。選考を経て内定した後に、研修者の希望、研修目的及び将来計画に沿って、研修先や研修期間等について事務局によるマッチングを行います。ただし、希望期間や事業スケジュールの条件が合わない等の理由により、申請時の希望通りにはならない場合があります。

- (1) 国内の劇場、音楽堂等の文化施設

年間を通して継続的に多様な事業を主体的に行う機能と実績を持つ劇場、音楽堂等。

- (2) 国内の実演芸術団体等

演劇、音楽、舞踊、演芸、伝統芸能等、年間を通して継続的かつ主体的に実演芸術を中心とした文化芸術活動を行う機能と実績を持つ実演芸術団体等。設立目的、趣旨、事業内容により、多様な団体があります。

協会組織・・・実演家、制作者、技術者等の個人又は団体を会員とし、文化振興を目的として公益的な事業を行う組織。

芸術団体・・・公演、体験、フェスティバル等の実演芸術の創造、制作等を主たる目的とする劇団、音楽集団等。または、企画、制作、実演家マネジメント等を主たる目的とする制作団体等。

*参考：これまでの研修受け入れ先

北九州芸術劇場、兵庫県立芸術文化センター、ロームシアター京都、びわ湖ホール、世田谷パブリックシアター、いわみ芸術劇場、ミューザ川崎シンフォニーホール、可見市文化創造センター、国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）、東京芸術劇場、KAAT 神奈川芸術劇場、彩の国さいたま芸術劇場
NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク、劇団うりんこ、東京交響楽団、公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）、NPO 法人 BEPPU PROJECT、株式会社アートステージライティンググループ、公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人かすがい市民文化財団

4. 研修期間

2019年9月頃～2020年2月頃

※ 原則として、上記期間内に研修を開始、終了することとします（1ヶ月以上の研修を推奨）。ただし、選考を経て内定した後に研修先および研修期間等のマッチングとなるため、申請時および内定時に研修実施を確約するものではありません。

5. 給付内容

本制度では、研修者、派遣元それぞれへ次の給付を行います。

【研修者（本人）】

- (1) **移動交通費** 研修開始時、研修終了時の航空賃・有料特急運賃等の実費

※研修先が遠隔地の場合のみ

- (2) **研修日当** 研修開始日から終了日まで、一日当たり5,000円

※団体（派遣元）からの申請の場合も、研修日当は研修者本人への給付とします。

【派遣元（研修者の所属団体）】※団体からの申請の場合のみ

研修者が法人格を有する団体に恒常的に雇用され賃金が支払われている者（雇用が証明できること）で、所属団体から職員の派遣を申請する場合には、派遣元（所属団体）に次の費用を給付します。

- (1) **研修協力金** 研修期間中一日当たり7,840円（ただし、月20日分を上限とする）

6. 募集期間

2019年4月26日（金）から2019年6月12日（水） **※必着**

7. 募集人数

4名程度

※募集人数は目安です。選考の際に、研修希望期間等から経費予定額を算出し、事業総予算を勘案した上で内定者を選考します。

8. 提出書類

(1) 申請様式

- ① 様式1 2019年度<二次募集>国内専門家フェローシップ制度 申込書
※様式1は「個人からの申込み」、「派遣元からの申込み」のいずれかを提出してください
- ② 様式2 経歴書
- ③ 様式3 研修計画書
- ④ 様式4 推薦書

*申請様式は、本事業ウェブサイトからダウンロードしてください。www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/

*申請様式はすべてA4、片面印刷とし、ホチキス止めはしないでください。

(2) 添付書類

- ① 住民票（発行日が3ヶ月以内のもの）
- ② 写真（3×4センチ、バスタップ写真、3ヶ月以内に撮影のもの）
※裏面に氏名を記入した上で、様式1に添付した状態での提出で結構です。
- ③ 研修希望者が法人に雇用されていることを証明する書類（雇用契約書の写し、雇用証明 等）
※添付書類③は「団体からの申込み」の場合のみ必要

9. 申請書類の提出先

申請様式、添付書類をそろえて、期日までに下記提出先まで、**郵送、持ち込み**のいずれかの方法で提出してください。

〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

- ※ 封筒に、「**国内専門家フェローシップ申請書**」と明記してください。
- ※ 郵送の場合は、宅配便や特定記録郵便等の**配達記録が残る方法**で送付してください。
- ※ 持ち込みの場合は、上記事務所にて、**平日10時～18時**に限り受け付けします。時間外の提出や、芸団協職員が直接受け取りをしなかった場合の申請書類の紛失等の事故については、責任を負いませんのでご注意ください。

10. 選考日程

一次選考は書類審査、二次選考は面接とし、選考結果はそれぞれ対象者全員に通知します。

一次選考（書類審査） 2019年6月中旬
二次選考（面接） 2019年7月1日～5日頃 ※会場は東京都内を予定
研修者内定 2019年7月中旬

※ 上記日程は予定です。応募件数や選考の状況により、日程が前後する場合があります。

※ 二次選考の日程については、一次選考を通過した方にのみ、指定の日時・会場等をお知らせします。原則として、**個別に希望日時はお伺いしませんのでご了承ください。**

Ⅲ 留意事項

1. 研修計画について

研修計画書（様式3）は、応募目的、具体的に学びたい実務内容、希望する研修先、研修後の将来計画を盛り込んで作成してください。

具体的な研修希望先が未定の場合は、内定後に事務局によるマッチングで、相談しながら候補先を選定することも可能です。ただし、申請書の段階で、**希望する地域、ジャンル、文化施設または芸術団体のいずれかなどを、現状の課題や研修目的とあわせて、できるだけ詳しく記入してください。**また、**希望する研修期間は、選考及びマッチングにも大きく影響するため、できるだけ現実的な希望期間を記入してください。**

ただし、研修先や研修期間は、受け入れ側の都合等により、申請時の希望通りにならない場合がありますことをあらかじめご了承ください。

2. 推薦人について

推薦書（様式4）の推薦人は、実演芸術に関わる専門家及び有識者等を想定しています。なお、複数人からの推薦書があることで、選考の際に有利になることはありません。

3. 研修報告等について

選考、マッチングを経て、フェローシップ対象者に決定した方には、研修期間中は毎月の月次報告書の提出、研修終了後は約1ヶ月以内に修了報告書を提出することが義務づけられます。報告内容は、人材育成の事例として、抜粋して公開させていただく場合がありますことをあらかじめご了承ください。

4. 給付金について

フェローシップ対象者への研修日当は、月次報告書の提出後、月ごとに本人に対して給付します。研修開始前の前払いや一括払いはありません。なお、派遣元への研修協力金は、すべての研修が修了したことが確認できた後の一括払いとなります。

また、研修先に決定した団体に対しては、研修指導料として、研修期間中一日あたり5,000円（月20日分を上限とする）が、すべての研修が修了したことが確認できた後に給付されます。

5. フェローシップ対象者の公表について

対象者に決定された方については、氏名、所属団体、専門職域、研修先、研修期間について、文化庁及び本事業ウェブサイト等を通じて公表いたします。あらかじめご了承ください。

6. 研修に当たっての注意

以下については、フェローシップ対象者及び派遣元団体の責任において行うこととします。

- ・研修期間中のフェローシップ対象者自身の病気、怪我、事故等に関わる保険
- ・研修期間中の居住先の選定、居住手続き、引越し等
- ・研修期間中のフェローシップ対象者自身の日常生活の管理

7. 個人情報の取扱い

申請書に記載された個人情報は、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会の管理規定に則り、適正に管理します。ただし、審査等の本事業に関わる業務のために、外部有識者や文化庁へ提供する場合があります。

様式①

2019年度<二次募集>国内専門家フェローシップ制度 申込書 <個人からの申込み>

ふりがな				<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	(写真貼付) 上半身4cm×3cm	
氏名	印			<input type="checkbox"/> 答えたくない		
生年月日	昭和・平成	年	月	日	年齢	歳 (2019年4月1日現在)
分野	<input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> 演芸 <input type="checkbox"/> 伝統芸能 <input type="checkbox"/> その他 ()					3ヶ月以内に撮影し 正面を向いているもの (加工されたものやスナッ プ写真は不可) ※写真の裏面に 氏名を記入してください
専門職域	※制作、プロデューサー、音響、照明など、現在の専門職域をご記入ください					
勤務先 または 所属先 (A)	名称					
	役職・担当職務					
	〒	住所		電話		
				FAX		
自宅 連絡先 (B)	〒	住所		電話		
				FAX		
				Eメールアドレス		
その他 連絡先 (C)	〒	住所		電話		
				FAX		
				Eメールアドレス		

事務局からの書類送付先の住所は (A・B・C)、電話連絡先は (A・B・C)、Eメールは (A・B・C) を希望します。

※上記連絡先のうち、最も連絡がとりやすいものをそれぞれ()のABCいずれかを選択し、○をしてください。

最終学歴	(西暦)	年	月	(名称)	※ 在学・卒業・中退 (いずれかに○)
資格					
健康状態	(持病をお持ちの方は必ず記入のこと)			既往歴	(最近5年以内のみ記入)
配偶者	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	扶養 家族	人		

希望 研修期間 (予定)	(西暦)	年	月	旬	～ (西暦)	年	月	旬
--------------------	------	---	---	---	--------	---	---	---

個人で申請する者で、会社や団体等に所属している場合は、以下の欄に所属長の許可を得て申請してください	
申請 承認欄	この者が2019年度国内専門家フェローシップ制度へ応募することを承諾します。 ただし、所属団体からの派遣申請ではなく、あくまで個人からの応募とし、 研修期間中も個人の責任において研修を行うこととします。
	団体名
	住所
役職・氏名	印

チェックリスト(全ての準備が終了後、チェックしたうえで提出してください)

- 押印しましたか
 希望研修期間は2019年8月～2020年2月の期間中になっていますか
 申込書、経歴書、研修計画書、推薦書、住民票、写真は揃っていますか
 未記入の部分はありますか

様式①

2019年度<二次募集>国内専門家フェローシップ制度 申込書 <派遣元からの申込み>

ふりがな				<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	(写真貼付) 上半身4cm×3cm 3ヶ月以内に撮影し 正面を向いているもの (加工されたものやスナッ プ写真は不可) ※写真の裏面に 氏名を記入してください	
氏名	印			<input type="checkbox"/> 答えたくない		
生年月日	昭和・平成	年	月	日		年齢
分野	<input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> 演芸 <input type="checkbox"/> 伝統芸能 <input type="checkbox"/> その他 ()					
専門職域	※制作、プロデューサー、音響、照明など、現在の専門職域をご記入ください					
勤務先 または 所属先 (A)	名称					
	役職・担当職務					
	〒	住所			電話	
					FAX	
				Eメールアドレス		
自宅 連絡先 (B)	〒	住所			電話	
					FAX	
					Eメールアドレス	
					Eメールアドレス	
その他 連絡先 (C)	〒	住所			電話	
					FAX	
					Eメールアドレス	
					Eメールアドレス	

事務局からの書類送付先の住所は (A・B・C)、電話連絡先は (A・B・C)、Eメールは (A・B・C) を希望します。

※上記連絡先のうち、最も連絡がとりやすいものをそれぞれ()のABCいずれか選択し、○をしてください。

最終学歴	(西暦) 年 月 (名称)	※在学・卒業・中退 (いずれかに○)	
資格			
健康状態	(持病をお持ちの方は必ず記入のこと)	既往歴	(最近5年以内のみ記入)
配偶者	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	扶養 家族	人

希望 研修期間 (予定)	(西暦) 年 月 旬 ~ (西暦) 年 月 旬
--------------------	-------------------------

団体から研修へ申請する場合は、以下の団体申請欄を記入してください。	
団体 申請欄	<p>この者を、2019年度国内専門家フェローシップ制度へ、弊団体から派遣申請します。 研修期間中および研修終了後も、弊団体の職員として扱うこととします。 なお、研修が確定した場合、研修期間中は(休職・出張)扱いとし、給与は(無給・有給)とします。 ※研修期間中の扱い、給与については、()内のいずれかに○をしてください</p>
	団体名 〒 代表者役 住所 職・氏名 印

チェックリスト(全ての準備が終了後、チェックしたうえで提出してください)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 押印しましたか | <input type="checkbox"/> 申込書、経歴書、研修計画書、推薦書、住民票、写真は揃っていますか |
| <input type="checkbox"/> 希望研修期間は2019年8月~2020年2月の期間中になっていますか | <input type="checkbox"/> 応募者が貴団体の職員であることが証明できる書類は添付しましたか |
| <input type="checkbox"/> 団体申請欄は未記入になっていませんか | <input type="checkbox"/> その他未記入の部分はありますか |

経歴書

(氏名)

※おもな芸術活動の履歴などが様式内に収まらない場合は、別紙を添付してもかまいません。

1. 専門教育や研修等の履修歴

西暦	主な専門教育、研修等の履修歴(卒業、修了等の略歴を記入してください)	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	

2. 職業略歴

西暦	職業略歴(就職、就業、所属等の略歴を記入してください)	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	

3. 主な芸術活動の履歴

※担当職務・役割は、具体的に詳しくご記入ください。

西暦	作品・公演名／担当職務・役割等		会場	主催者
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			

4. 受賞等の履歴

※過去の活動において、ご自身の受賞歴があればご記入ください。

西暦	受賞歴等(賞名、作品名や担当職務・役割等を記入してください)
年	
年	
年	

研修計画書

(氏名)

1. 研修応募目的

--

2. 希望する研修先と学びたい研修内容 ※できるだけ具体的に詳しく記入してください

第1希望	希望期間	年 月 旬～ 年 月 旬
希望する研修内容		
第2希望	希望期間	年 月 旬～ 年 月 旬
希望する研修内容		
第3希望	希望期間	年 月 旬～ 年 月 旬
希望する研修内容		

3. 研修後の文化芸術活動の将来計画

--

様式④

推 薦 書

2019 年 月 日

推薦者

住 所	〒
団 体 名	
役職・肩書	
氏 名	

応募者氏名

推薦理由

美演芸術連携フォーラム (旧 全国劇場・音楽堂等連携フォーラム) は、2013年から継続開催している専門家同士の交流の機会です。

連携フォーラム宣言

劇場、音楽堂等と芸術団体の力を生かし、実演芸術、地域文化をより豊かなものに

2012年6月、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律が制定され、2013年3月文部科学省大臣により策定された指針が示され、今日における劇場、音楽堂等の目指すべき姿が明確に定まりました。実演芸術の力を生かし、すべての国民が心豊かな生活を実現できる場、地域コミュニティの創造と再生を通じ地域文化の発展を支える「新しい広場」として、国際社会の発展に寄与する「世界の窓」としての役割が期待されています。

第2回全国劇場、音楽堂等連携フォーラムに集った、劇場、音楽堂等と実演芸術関係者は、人々が文化芸術を創造し、鑑賞し、体験することのできる豊かな環境をつくり出すことを共通目的に、劇場、音楽堂等と芸術団体の連携を深め、相互に学び、経験を共有し、実演芸術の質の向上と全国での普及のために不断の努力を積み重ねていくことが重要であるとの認識で一致しました。

そのためには、制作、技術、実演、経営等の専門家育成、確保を図り、その活動の場を広く、活動の質を高める必要があることと認識しました。このことを成し遂げていくために、継続的に努力し、積極的な政策提言を行わなければならないと考えます。

私たちは、国・地方公共団体に対して文化芸術の振興に専ら劇場、音楽堂等と実演芸術団体の役割を認識し、これらを活かすために効果的な政策を形成し、労資の協力を図るよう働きかけていきます。また、劇場、音楽堂等と実演芸術関係者同士の連携を促進し、劇場、音楽堂等と実演芸術関係者同士の連携に尽力することを宣言します。

2014年1月20日 第2回全国劇場、音楽堂等連携フォーラム
劇場・音楽堂、実演芸術団体 参加者一同

実演芸術連携交流事業とは

国内外のプロデュース、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、実演家等の実演芸術に携わる専門家同士の交流促進を通して、芸術文化を支えるグローバル人材の育成と国内外への発信力の強化を図り、わが国の実演芸術の発展に資することを目的とし、2015年度より開始した事業です。国内専門家フォーラム「実演芸術連携フォーラム」「実演芸術国際シンポジウム」の3つの取組を通して、実演芸術に携わる専門家同士の育成と、専門家同士の横断的なネットワーク構築を目指します。

www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/

申込方法 | 第10回 実演芸術連携フォーラム

◎メール entry@geidankyo.or.jp ...下記フォームと同様の必要事項を明記してお送りください

◎FAX 03-5909-3061 ...下記フォームにもれなくご記入の上お送りください

◎ウェブ www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/forum/ ...申込フォームにご入力ください

- ◆申込頂いた方の、氏名、所属、担当職務・役職を記載した参加者リストを当日配布予定ですのでご了承ください。
- ◆申込締切日後の参加申込や変更については担当までご連絡ください。本件の報告書や広報に使用させていただきます。
- ◆当日は取材、記録撮影などを行います。撮影、記録した内容については、ご希望に応じて掲載させていただきます。
- ◆参加費は無料です。申込者多数な場合は、希望者優先で参加させていただきます。
- ◆頂いた個人情報は、今後の同様の芸術関連事業のご案内等に使用させていただきます。

FAX申込フォーム 申込締切 2019年7月12日(金)

ご所属 (団体名) (電話番号)	※フリーランランスの方は所属機関は空欄で結構です
TEL	
FAX	
お名前 (ふりがな)	姓
Eメール	<input type="checkbox"/> 担当職務・役職 ※手話による情報提供が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
お名前 (ふりがな)	姓
Eメール	<input type="checkbox"/> 手話通訳が必要 ※手話による情報提供が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
お名前 (ふりがな)	姓
Eメール	<input type="checkbox"/> 手話通訳が必要 ※手話による情報提供が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します

【お問い合わせ】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協] 実演芸術振興部 担当：藤原
〒160-8374 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能文化舎 2F
TEL: 03-5909-3060(平日 10時~18時) FAX: 03-5909-3061 Eメール: renkei@geidankyo.or.jp

文化庁 2019年度「次世代の文化を創造する先進芸術家育成事業『実演芸術連携交流』」

第10回 実演芸術連携フォーラム

全国あらゆる人々に芸術体験の機会を広げるために

実演芸術分野の専門家として、どんな場面で求められるでしょうか、どんな人々と協働ができるでしょうか。芸術団体、劇場・音楽堂等の文化施設、文化関連団体、自治体など、文化芸術にさまざまな形で携わる皆さんと、取り組み事例を共有しながら一緒に考えます。

日程 2019年7月16日(火) 13:00~17:30

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室 (国際交流棟)

住所: 東京都渋谷区代々木神園町3-1 (小田急線「参事橋」駅 徒歩7分、千代田線「代々木公園」駅 徒歩10分)

参加費 無料

● 手話通訳あり ● 途中の入退場 OK ● 当日の進行状況により時間は変動する可能性があります

13:00-13:15 開会挨拶 文化庁

13:15-14:45 第1部 「人材交流から掘く未来」～国内専門家フォーラム研修報告から～

ゆたかな芸術創造を支える専門性を高めるためには、キャリアアップやキャリアシフトなど、段階に応じた研修機会が必要です。2015年から開始した国内研修制度「国内専門家フォーラム研修制度」では、実務研修を通して、文化施設や芸術団体という枠組や職域、そして地域を超えた専門人材同士の交流が広がっています。2018年度研修者による報告から、本人だけでなく、周辺にもたらす効果と将来的な可能性を考えます。

● 報告者 (所属) 研修先

- 小川哲郎 (合同会社JS文化フォーラム 東御市文化会館) | (公財)埼玉県芸術文化振興財団 さいたま芸術劇場
- 佐藤拓夫 (有)古宮空間 | (公財)かすが市市民文化財団 春日井市民文化会館・文化フォーラム春日井
- 野田景子 ((公財)鳥取県文化振興財団 とりま文化会館) | (公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

● 進行 植屋一之 (神奈川県国際文化観光局舞台芸術担当部長 兼 青年センター一参事)

15:00-17:30 第2部 「ユニバーサル社会の実現に向けて～芸術文化の取り組み事例から～

言語、身体障害など、さまざまな不安を抱えている人々が芸術文化を楽しむために、どんなアプローチができるでしょうか?劇場や芸術団体の立場からの取付き、今後の展開に向けた協働の可能性を考えます。

● 事例報告

Tickets Today (ロンタングランニング) ...外国人観光客を視野に入れた多言語対応の当日券案内所
エル・システマジャパン...「東京ホワイトハントコース」障害児を中心とした音楽活動の展開
劇団銅鑼...若年鑑賞者からの社会参加支援の一環としての演劇ワークショップ

● ディスカッション

- 徳川康雄 (国立劇場 制作部長)
- 鈴木潤子 (東京芸術劇場 事業企画課長)
- 田辺繁子 (劇団銅鑼 制作)

事業公式ウェブサイトをぜひご覧ください。 www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/



後援: 公益社団法人全国公立文化施設協会/劇場、音楽堂等連絡協議会/公共劇場舞台技術者連絡会
主催: 文化庁/公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]



美演芸術連携フォーラムとは

美演芸術連携フォーラム（旧：全国劇場・音楽堂等連携フォーラム）は、2012年に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が施行されたことを受けて、2013年から継続的に開催されています。芸術団体や劇場といった立場やジャンル、地域を越えて、美演芸術に携わる人々が集まる情報交換の機会です。

美演芸術連携交流事業とは

国内外のプロデューサー、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、美演家等の美演芸術に携わる専門家同士の交流促進を通じて、芸術文化を支えるグローバル人材の育成と国内外への発信力の強化を図り、わが国の美演芸術の発展に資することを目的とし、文化庁が2015年度より開始した事業です。

【国内専門家フェロワーシップ制度】「美演芸術連携フォーラム」は「美演芸術国際シンポジウム」の3つの取組を通して、美演芸術に携わる専門家同士の横断的なネットワーク構築を目指します。

事業ウェブサイトから、過去の事業報告書（PDF）もご覧いただけます。
www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/



申込方法 | 第11回 美演芸術連携フォーラム

- ◎Eメール entry@geidankyo.or.jp ……件名を「連携フォーラム申込み」とし、本文に下記フォーラムと同様の事項をのれなく明記してお送りください
- ◎FAX 03-5909-3061 ……下記フォーラムにもれなくご記入の上お送りください
- ◎ウェブ www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/forum/ ……申込フォーラムにご入力ください

- ◆申込み頂いた方、氏名、所属、担当職務・役職を記載した参加者リストを当日配布予定ですのでご了承ください。
- ◆申込み締切日後の参加申込や変更については担当までご連絡ください。
- ◆当日は取材、記録撮影などを行います。撮影・記録した内容は、本件の報告書や広報に使用させていただきます。
- ◆希望の割合上、申込み者多数などにより、ご希望に添えない場合があります。
- ◆頂いた個人情報、今後の同様の芸術協働事業のご案内等に使用させていただきます。

FAX申込フォーラム 申込締切 2019年11月8日(金)

※無所属の方は空欄のままで結構です

ご所属 (団体名)	TEL
(組織名)	FAX
お名前・ふりがな	担当職務・役職、専任分野など
Eメール	様
お名前・ふりがな	担当職務・役職、専任分野など
Eメール	様
お名前・ふりがな	担当職務・役職、専任分野など
Eメール	様

【お問い合わせ】美演芸術連携交流事業 事務局

公益社団法人日本芸能美演家団体協議会 [芸団協] 美演芸術振興部 担当：フジワラ

〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F
 TEL：03-5909-3060(平日 10時～18時) FAX：03-5909-3061 Eメール：renkei@geidankyo.or.jp



第11回

美演芸術連携フォーラム

文化庁 2019年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」美演芸術連携交流事業


全国あらゆる人々へ芸術体験の機会を拡げるために

美演芸術分野の専門家として、どんな視点から求められるでしょうか、どんな人たちと協働ができるでしょうか。芸術団体、劇場、音楽堂等の文化施設、文化関連団体、自治体など、文化芸術にさまざまな形で携わる皆さんと、取り組み事例を共有しながら一緒に考えます。

日程 2019年**11月11日(月)** 14:00～17:30

会場 グランキューブ大阪 1202室 (住所：大阪市北区中之島5-3-51)

新阪電車中之島線「中之島(水原国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
 JR大阪環状線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
 阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
 大阪メトロ「河波産駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分
<https://www.gco.co.jp/access/>



参加費 500円(当日集金)

14:00-15:10 第1部「人材交流から描く未来図」 ●当日の進行状況により時間は変動する可能性あり ●途中の入退場OK

地域に根差した事業展開を考えていくためにも、新しいやり方や考え方にふれるチャンスは大切。研修制度を活用して他団体・他地域の現場に飛び込んだ若手実務者らが、共同制作や実務者同士の交流のなかでの気付きを語り合います。「国内専門家フェロワーシップ制度」(国内研修)にご興味がある方もどうぞ。

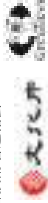
- **報告者(所屬先) | 研修先**
 牛山 直美 (休本市芸術文化振興財団 まつもと市民芸術館) | KAAAT 神奈川芸術劇場
 野田 累子 (鳥取県文化振興財団 とりぎん文化会館) | 東京芸術劇場
- **進行** 宮崎 刀史紀 (京都市音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都)

15:30-17:30 第2部「地域の若者+美演芸術 地域のなかでのつながり方」

“地域の若者”をキーワードに、芸術団体、劇場それぞれの取組を紹介。地域のなかでの芸術文化の役割、接点をつくりだす視点とプロセスを考えます。参加者の皆さんも含めて、ネットワーキングの機会にもなればと思います。

- **事例紹介**
 榎塚 拓真 (日本センチュリー交響楽団)
 ……若者就労支援プログラム「The Work」の紹介を中心に、異分野との協働で見えてきた楽団と地域社会との新しいつながり
 龍 亜希 (北九州市芸術文化振興財団 北九州芸術劇場)
 ……高校生・大学生など地域の若者に向けたワークショップや若者支援施設との協働で取り組む芸術体験プログラムの等、公共劇場としての地域に根差した取組
- **進行** 齋藤 努 (高知県文化財団 アーツカウンシル担当)

協力：公益社団法人全国公立文化施設協会/劇場、音楽堂等連絡協議会/公共劇場舞台技術者連絡会
 主催：文化庁/公益社団法人日本芸能美演家団体協議会 [芸団協]



美演芸術国際シンポジウム

舞台芸術における国際共同制作の最前線 World Opera Meeting in Tokyo 2020

日時：2020年1月17日(金) 14:00-16:30 会場：国立新美術館 講堂

いま、世界各国との協働に求められるアーティスト/スタッフとは――

●パネリスト

ニコラス・ペイン | Nicholas Payne (オペラ・ローマオペラ・ディレクター)



1968年にロイヤル・オペラ・ハウス・ロンドンでキャリアを開始し、50年以上にわたるオペラ界で、ウェルシュ・オペラ・ハウス、オランダ・オペラ・ハウス、オーストラリア・オペラ・ハウス、ロンドン・オペラ・ハウスの総監督、ロイヤル・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの総監督等を歴任。2008年からオランダ・オペラ・ハウスのディレクターとして、同組織の成長における主要な役割を果たしている。オランダ・オペラ・ハウスとして、450回以上のオペラ公演、オペラ・フェスティバルから成る各員団に成長させた。

ソフィ・ド・リント | Sophie de Lint (オランダ国立オランダオペラ・ディレクター)



2018年4月、オランダ国立オランダオペラ・ディレクターに就任。前職は、オランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの総監督を務め、インターナショナル・オペラ・フェスティバル「国際オペラ・フェスティバル」(2014年)に就任した。1994-2003年にオランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの総監督、2003-2006年にオランダ・オペラ・ハウスの総監督を務め、その間にオランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの総監督として、オランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの成長に貢献した。2006-2009年にオランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの総監督を務め、その間にオランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの成長に貢献した。2009-2016年にオランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの総監督を務め、その間にオランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの成長に貢献した。2016-2019年にオランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの総監督を務め、その間にオランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの成長に貢献した。現在は、オランダ・オペラ・ハウス・ロンドン・オペラ・ハウスの総監督を務める。

山口 毅 (公益財団法人東京二期会 事務局長)

●モデレーター

石田麻子 (昭和音楽大学 教授、オペラ研究所 所長)

●お問い合わせ

公益財団法人 日本芸術家団体協議会 (芸団協) 芸術活動推進部 担当：藤原
〒160-8579 東京都新宿区西新宿1-12-50 芸団協ビル2階
TEL:03-5509-3060 (F:0109-1988) FAX:03-5509-3061
E-mail:renkei@gedankyo.or.jp

2019年度文化庁次世代芸術家育成事業(芸術家育成事業)実施事業

www.gedankyo.or.jp/renkeikoryu

主催：文化庁/公益財団法人日本芸術家団体協議会(芸団協) 制作協力：昭和音楽大学
後援：公益財団法人全国公立文化施設協会/舞臺、音楽堂等運営協議会/
プロダクション・コングレス(株)等/オランダ王国大使館

Design: Think Out Loud (Overseas)



〒100-8588 東京都港区六本木7-22-2 国立新美術館地下講堂
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」南口徒歩1分、青山通方面丸の内線(有明駅直結)
東京メトロ有明線・都営大江戸線「六本木駅」南口徒歩約4分



申込締切：2020年1月14日(火)

※日英同時通訳あり

International Symposium on Performing Arts

World Opera Meeting 2020 in Tokyo

美演芸術国際シンポジウム

舞台芸術における国際共同制作の最前線 World Opera Meeting in Tokyo 2020

日時：2020年1月17日(金) 14:00-16:30

会場：国立新美術館 講堂

参加費無料

2020.1.17 Friday 14:00-16:30 at The National Art Center, Tokyo

国際共同制作は、今日の舞台芸術を語るうえで欠かせないテーマです。今やアジア諸国とヨーロッパ諸国の間で大規模なオペラの共同制作が盛んに行われ、その潮流は今世紀に入ってから大きく変化しています。

オペラは舞台芸術のなかでも最も大規模で複雑な制作体制を擁します。理念や体制が異なる劇場・団体・実演家の間で、こうした協働がどのように行われ、どのような人材が求められているのでしょうか。

第一線で活躍するディレクターたちを招き、国際的な状況を共有しながら、これからの日本と世界との協働、そして発信のありがたを考えます。



2019年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
「実演芸術連携交流事業」実施報告書

発行日：2020年3月31日

編集・発行：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]
実演芸術振興部
〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F
TEL：03-5909-3060 FAX：03-5909-3061
E-mail：renkei@geidankyo.or.jp
www.geidankyo.or.jp/
事業ウェブサイト www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/

デザイン：株式会社 森の印刷屋

※本書の全部または一部の無断転載・複写及び電子媒体への入力はお断りいたします。